

身代わり観音



制作

さくら茶屋にししば（金沢区西柴3-17-6）

あらすじ

現在、称名寺に安置されている、『海中出現観世音菩薩』にまつわるお話です。

今から700年ほど前に長浜を大津波が襲いましたが、村人全員が無事助かりました。しかし、村人の身代りになるかのように、観音さまが流されてしまいました。

それから40年後、柴の漁師が海中で光る観音さまを見つけ出し、再び手厚くお祀りしたということです。

作者紹介

文：富田あさえ（主婦・さくら茶屋スタッフ）

元になる本もあるからと簡単に引き受けた紙芝居作りでしたが、いざ始めてみると……。資料を調べ直したり、文章を手直したりと5, 6回は書き直す羽目になりました。素晴らしい絵のおかげで完成してほっとしています。たくさんの人に楽しんでいただけたら幸いです

絵：上野修世（主婦）

金沢区には昔から伝わっている民話がいくつかあることを今回初めて知りました。身代り観音が称名寺にお祀りされていることにもこれまで気づきませんでした。紙芝居を描くために称名寺を訪れ実物を拝見し、改めて歴史の町であることを実感しました。